試　運　転

● 深夜電力通電制御型で契約をしている場合で、昼間に試運転を行う場合は所轄の電力会社に連絡し専用のタイムスイッチの封印を解き、設定をずらして通電状態にしてください。

製品に通電する前にリモコンの接続が完了していること、及び**タンクが満水になっていること**を確認する（逃し弁を開放し、排水口から水が出たら満水です。）

1. 試運転準備

逃し弁を開放してタンクに注水し、満水状態にしてください。排水口（逃し弁チューブ）から水が出たら満水です。（注水方法の詳細については、取扱説明書をご参照ください。）

※逃し弁のレバーを下げ（逃し弁閉）ても、逃し弁チューブからの排水が止まらない場合は、逃し弁レバーの上げ下げを2～3回繰り返してください（取扱説明書53ページ「逃し弁の動作確認」参照）

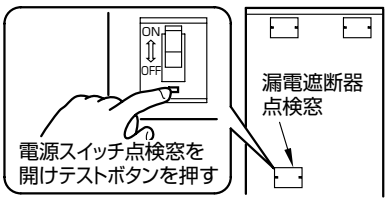
2. 電気温水器の通電確認

①ブレーカを「入」(ON)にしてから本体の電源スイッチのレバーを「入」(ON)にします。
電源スイッチ（主電源）のテストボタンを押してください。

②「入」（ON）になっていた電源スイッチのレバーが「切」（OFF）になれば正常です。

※時間帯別電灯契約（B）及び深夜電力契約の場合は補助電源の電源スイッチも同様に通電確認してください。

※通電直後はタンク内が水のため、リモコンの湯量表示が0ℓとなっています。わき上げによりタンク内がお湯になるとバー表示が点灯します。（→取扱説明書43ページ）



3. ヒータへの通電確認

〈時間帯別電灯契約（A）（B）の場合〉

①本体の電源スイッチのレバーを「入」(ON)にします。
（時間帯別電灯契約（B）の場合は補助電源の電源スイッチも「入」（ON）にしてください。）

②リモコンの時刻を昼間時間帯に仮に合わせます。

※リモコンは現在時刻に合わせて工場出荷しております。

③リモコンの全量わき増しスイッチを押し、リモコン表示部の「わかし中」表示と電力量計の回転の変化で確認してください。

④次に、100ℓわき増しスイッチを同様に確認してください。

⑤リモコンの時刻を現在時刻に正確に合わせます。

〈深夜電力通電制御契約の場合〉

①主電源と補助電源両方の電源スイッチのレバーを「入」(ON)にします。

②補助電源の電源スイッチのレバーを一端「切」（OFF）にし、再び「入」（ON）にします。（ピークシフトを解除します。）

③リモコン表示部の「わかし中」表示と電力量計の回転の変化で確認してください。

④リモコンの時刻を合わせます。（リモコンは現在時刻に合わせて工場出荷しておりますが、念のため確認してください。）

※通電しない場合は電源スイッチの「入」「切」を繰返してみてください。（ヒータは数秒遅れてONします。）

4. 湯はり運転の確認

＊ リモコンがRAC601シリーズの場合は、浴室リモコンに同梱されている施工説明書に従って操作してください。

タンク内が水の場合でも、下記操作により湯はり運転の確認ができます。

※タンク内が水の場合に「ふろ自動」スイッチや「ふろあつく」、「たっぷり」スイッチを操作するとリモコン表示部に「079」や「089」（コード番号）が出ることがあります。（→取扱説明書7～8ページ）

①浴槽を空にして、浴槽の排水栓を閉じます。

②浴槽の大きさに合わせて、お湯はり水位を設定します。（工場出荷時は水位4に設定されています。）

③浴室リモコンの（表示）を2秒以上押しリモコン表示部に「ー:ーー」と表示されたのち、ふろ温度（▽）を5秒以上押します。

④浴室リモコンの表示部に「Lo」と表示され、設定した湯量を湯はりし、試運転が完了するとメロディ音が流れ、浴室リモコン表示部に「End」と表示されます。浴室リモコンの自動スイッチを押すと、リモコン表示部が通常表示に戻ります。

⑤試運転終了後、配管及び各配管接続部から水漏れがないことを確認してください。

※ 試運転中、リモコン表示部に「A01」「A02」（故障コード）が表示された場合は下記のチェック項目を確認してください。

注この試運転では温水器は浴槽の大きさを記憶しません。設置後はじめて「ふろ自動」運転を行う場合は、取扱説明書の「お湯はりする前に」を参照し、浴槽の水を完全に排水してから行ってください。お湯はり水位が安定しない場合は取扱説明書の46ページの手順でふろ水位のデータをリセットしてください。

故障コード	異常内容	チェック項目
A01	湯はり流量異常	・給水元栓は開いているか　・ストレーナの詰まりはないか ・給水元圧は十分にあるか　・その他の配管の詰まりはないか
A02	ポンプ循環異常	・ふろ配管の漏水、ねじれ、エアー噛みはないか ・ふろ配管距離が長すぎ（15m10曲がり以上）ないか

5. その他

・減圧弁のフィルター掃除をしてください。（下図参照）
・その他のリモコン操作も取扱説明書のとおりに操作できることを確認してください。
・深夜電力通電制御契約の場合は、試運転終了後直ちに所轄の電力会社へ工事が終わった旨を連絡してタイムスイッチを再度封印してもらってください。
・試運転後、お客様への引渡しまで期間がある場合は、取扱説明書に記載の「排水のしかた」にしたがって、タンクの水抜きと循環ポンプの水抜きしてください。さらに、減圧弁のフィルターも外してフィルターと逆止弁周りの水分を取ってください。冬場、フィルターと逆止弁が凍結し、通水できなくなることがあります。
・不具合内容のチェック時には、別冊の取扱説明書「故障かな?と思ったら」（3ページ～8ページ）をご参照ください。
・取付浴槽容積は、一般家庭用340Lまでとなります。

お客様への説明

電気温水器の特長について、以下のことをお客様へご説明してください。

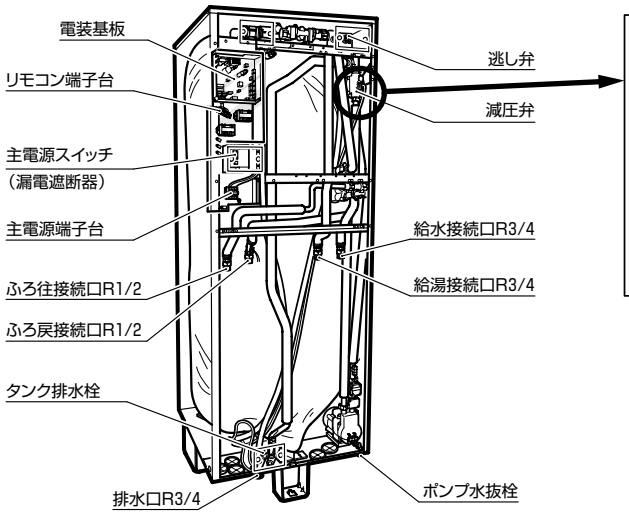
電気温水器は、電気代の安い夜間通電時間帯にヒーターでお湯をわかして、タンクに貯めておき、昼間に使うのが基本です。
お湯を使い過ぎた場合には、湯切れする可能性があります。
湯切れした場合にはリモコン表示部に「079」や「089」（コード番号）が表示します。（→取扱説明書7～8ページ）お湯が不足しそうなときやリモコン表示部に「079」や「089」（コード番号）が表示された場合にはわき増しを行ってください。（→取扱説明書39ページ）
1日に使用できるお湯の量は限られています。特に冬場は水温が低くなり、ムダな使い方をしますと湯量不足になり、お湯が使えなくなることがあります。

以下の点に注意をしながら、お湯は大切にお使いください。
●お湯は流しっぱなしで使用せず、こまめに止めてください。お湯は容器に受けて使うとムダがなくなります。
●入浴は、できるだけ夜間通電時間帯を避けてください。夜間通電時間帯にお湯を使うと翌日の湯温が低くなり、湯量不足になる場合があります。
●浴槽には冷めやすいものもあります。入浴後はふたをしてください。

減圧弁フィルターの掃除

配管内のゴミがフィルターにたまりますので、配管接続後の通水試験後、および試運転の後、必ず掃除を行ってください。

①温水器専用の止水栓を閉じます。
②本体の電源スイッチ（主電源）のレバーを「OFF」（切）にします。
　補助電源スイッチがある場合は、補助電源スイッチのレバーも「OFF」（切）にしてください。
③逃し弁のレバーを上げ（逃し弁開）、通水部内の圧力を抜きます。



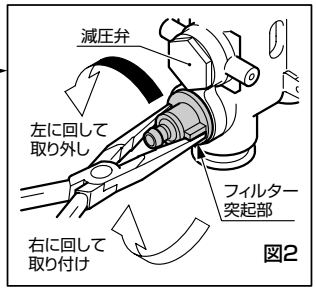


図2

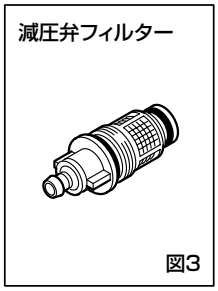


図3

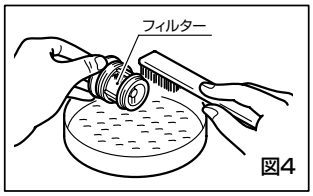


図4

④温水器本体内の減圧弁のフィルター部（図3）を手で回し、引き抜きます。
　手で回しにくい場合は、図2のように突起部にラジオペンチ等を引っ掛けて回し、引き抜きます。
⑤図4のように、ブラシ等でフィルター部に付着したゴミを取り除きます。
⑥フィルターを減圧弁に確実に取り付け、水漏れのないことを確認してください。

●定期点検のおすすめ（有料）●
本機器は給水用具（逆流防止装置）を内蔵しております。機器を安全・快適にお使いいただくために、（社）日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に基づいて4～6年に1回程度の定期点検をおすすめします。